



監督◆インタビュー

監督

ランコポポヴィッチ

RANKO POPOVIC

プロフィールは
こちらをクリック!**--3連戦を戦う中で、2試合連続3-0での勝利があるなど、現在、チーム状態は順調でしょうか。**

「良い状態でスタートを切れたと思います。難しいこともたくさんありますが、その中でも選手たちは良いものを見せてくれています。ただサッカーは継続して見せ続けることが一番大事なことです。私が来た当初からメンタリティーの部分に関しては、どういうメンタリティーでいなければいけないのか、口を酸っぱくして話してきました。その点、選手たちは精神面でも逞しくなっています。やるべきことにフォーカスすることはとても良くなっていますが、より強いチームになるには、やはりベンチメンバーの層の厚さも重要です。ベンチメンバーがさらにプラスαを出していく、チームにさらに勢いをもたらす。そうやってギアを上げていくことができれば、良い結果になっていますが、後半から入る選手がそれをできていないと難しい試合になっています」

--前半で3-0になったことで、多くの主力選手を早めに交代させて休ませることができました。それができたことは次の試合に向けてアドバンテージになりますか。

「ご存知のように今季の我々は抱えている選手の人数が決して多くはありません。我々にとっては1人の選手がとても重要です。そういった意味でも選手を守るために配慮しなければなりません。ヴィニシウス アラウージョもスタミナやゲーム体力が戻ってきていません。安井拓也に関しても、初先発の仙台戦で予定よりも長く起用したため、2試合目の方がさらにプレッシャーが掛かる状況でしたし、体力的にもキツかったでしょう。シュウ(太田修介)もスプリンタータイプですし、全力を出してしまうタイプでもあるので、こちらが少しセーブしなければいけません。彼らを守りながら起用することも、戦力を維持するためには必要なことです。カズマ(山口一真)もまだゲーム勘が整っていません。彼の強い想いと体がまだ一致していませんから」

--千葉の印象は?

「千葉は千葉ですよね。オーガナイズもしっかりとしていますし、インテンシティーも十分にタフに戦ってくる相手です。あとは波がないチームです。経験だけではなく、戦い方を知っているチームでもあります。体を張らなければならない場面では体を張ってきますし、レフェリーとの駆け引きもしっかりとやってくるチームです。そういう意味で勝負事とは何かを知っているクオリティーのあるチームでもあります」

--次もホームゲームです。ファン・サポーターの皆様へ、メッセージをお願い致します。

「前回の宮城戦にスタジアムまで足を運んで下さり、うれしかったです。試合後のインタビューでは、半分冗談で友人を連れて来てほしいとお伝えしましたが、我々にもっと力を貸していただきたいです。皆様の後押しが力になりますし、我々は来ていただけるにふさわしいサッカーを見せられている自信もあります。ぜひ周りの方々に誘ってスタジアムまでお越し下さい。ともに戦うからこそ、我々は強くなれるわけですから」

FC MACHIDA ZELVIA Official MATCHDAY PROGRAM DIGITAL

FC町田ゼルビアと、共に。
CLUB
ZELVISTA

シーズンシート
クラブゼルビスタ2022
会員募集中!

